

INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

VOL
29

2012

●特集 さらなる病院の発展をめざして

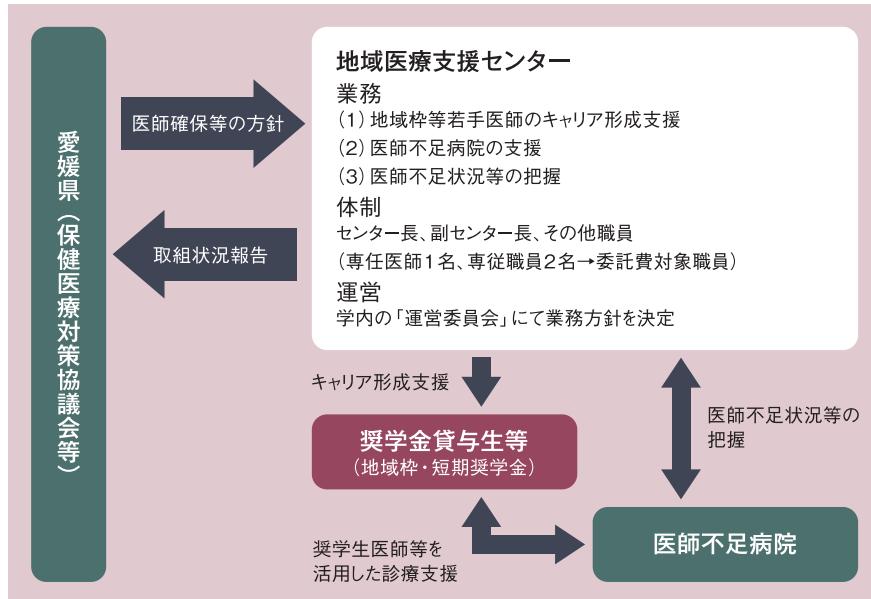


患者から学び、患者に還元する病院

愛媛大学医学部附属病院

地域の病院や若手医師の支援を通じて地域医療の再生を目指します

地域医療支援センター長 高田清式 医師
副センター長 高橋敏明 医師



当院の地域医療支援センターは、地域医療に従事する医師の確保と定着を図り、愛媛県内の医師不足を解消することを目的に、愛媛県の委託により平成24年4月1日に開設されました。センターでは、地域医療奨学生等の若手医師のキャリア支援に力を入れます。愛媛県における若手医師の定着率の低迷を改善するため、彼らが不安なく地域医療に従事できるよう、十分な知識と技術の習得と医師自身の要望を踏まえたキャリア形成をサポートします。サポートするのは一定の期間ではなく、生涯と考えています。

また、地域医療機関と住民のニーズを的確に把握し、将来の医師の配置に備えます。愛媛県は島しょ部や山間部における地域医療の必要性が他県に比べて高い地域です。医師が不足している地域に単に医師を配置するのではなく、その地域で本当に

必要とされる医療について知り、それに応じて医師を配置することで医療の質の向上を図ります。今年の秋頃に県下の住民の方を対象に医療に関するアンケートを実施し、ニーズの把握に努める予定です。

今後も、関係機関とのネットワークの活用や学生実習、臨床研修機能等の強化を通じて、地域医療を担う医師の養成を推進してまいります。更に、「相互扶助」をキーワードに、医師のみならず、行政や地域住民の方々への働きかけを行ってまいります。愛媛県が他県の見本となるような地域医療の先進県となることを目指します。

○お知らせ

外来棟増築工事のため、医療福祉支援センターと臨床薬理センターは地域医療支援センター1階に移転しました。医療福祉支援センターは平成25年4月まで、臨床薬理センターは平成25年9月までの期間です。



PROFILE

たかだきよのり◎大阪府出身、愛媛大学医学部卒業。1981年から愛媛大学医学部で研修医。専門分野は消化器内科学、感染症をはじめとした総合内科医。松山市エイズ対策推進協議会会長、愛媛県感染対策協議会副会長。2005年、総合臨床研修センター専任助教授として就任、2007年同センター専任教授。趣味は愛犬・アラスカン・マラミュートの散歩。



PROFILE

たかはしとしあき◎愛媛県西条市出身、高知医科大学医学部卒業。平成16年から愛媛大学医学部附属病院勤務、平成24年に准教授。専門分野は膝の外科、スポーツ医学。趣味はスポーツ観戦、特に高校野球。



地域医療支援センター外観



愛媛県議会議員団による視察（平成24年5月29日）



睡眠に特化し、検査を含めて愛媛県における中核施設に

睡眠医療センター長 岡 靖哲 医師



PROFILE

おかやすのり◎京都大学医学部卒業。平成21年に愛媛大学大学院医学系研究科寄附講座教員、平成24年に医学部附属病院准教授・睡眠医療センター長。専門分野は睡眠医学、臨床神経学。趣味は旅行、特に海のリゾート。

日本睡眠学会が認定した施設は、四国では高知1カ所しかありません。睡眠は比較的に新しい分野です。不眠症にはじまり、眠気が強い過眠症、脚の不快感で眠れないレストレスレッグス症候群、NHKでも取り上げられたレム睡眠行動障害、睡眠時遊行症（夢遊症）、睡眠覚醒リズム障害などがあります。患者さん自身はもちろん医療従事者も知らない病気がたくさんあります。センターではこの睡眠に特化し、愛媛県の中核施設を目指して平成24年5月からスタートしました。眠っている間に起こること全てが検査や治療の対象となります。診療に従事するのは私を含めて4名の医師（その内2名が常勤）と検査技師2名の体制です。

睡眠の検査として終夜睡眠ポリグラフィに加えて、過眠症の精密検査である「反復睡眠潜時検査（MSLT）」を導入してい

ます。常時検査できるのは県内ではここだけです。睡眠の検査をセンターで集約しているのも当院の特徴です。診断・治療導入後は、地域の先生方に治療の継続をお願いしています。

子どもの睡眠障害にも力を入れます。睡眠時無呼吸は早ければ乳児期から症状がみられます。子どもの成長や発達に大きな影響を与えるので、早期の治療が必要だと考えています。外来は完全予約制です。医療福祉支援センターを通して予約してください。



INVITATION TOPICS

学生・研修医に快適で安全な住環境を提供



平成24年4月より、学生・研修医宿舎「あいレジデンス」への入居が開始されました。この建物は重信キャンパス内に設置され、鉄筋4階建で学生用1K60戸、研修医用1K16戸・1LDK8

戸、さらに非常勤講師等のゲストルーム2戸を備え、快適で安全な住環境を提供しています。居室は洋間タイプのクローゼット付で、従来の学生寮よりスペースを広くとっています。また、トイレ（ウォシュレット付）と浴室を個別に配置しているほか、オール電化に対応。更

に、1階部分には宅配ボックス・コインランドリー・自動販売機を設置しています。

入居者の感想は「病院見学の際にあいレジデンスを知りました。遠方の大学に通っていたため医学部周辺の土

地勘がなく、自分でアパート等を探すのは不安がありました。病院にも近いためとても便利ですし、セキュリティもしっかりしていて安心です。また部屋の両隣が同じ研修医ということで、一緒に病院へ通ったり食事をしたりできるのが良いですね。」「あいレジデンスのことは高田先生から教えていただきました。病院にも近く、新築ということもあり非常に住み心地が良いです。宿舎内で他の研修医や学生と交流できるのも魅力です。」と好評のようです。

当院では今後も、これから地域医療を担う学生・研修医にとって魅力ある教育環境づくりを進めてまいります。

愛媛大学医学部附属病院 センター・施設トピックス

お気軽にご相談ください

緑の土地を委譲



重信団地の北側の木々の茂る土地を東温市に移譲することが決まりました。この2年間、緑の保全と通学路の確保の点から大学と市が協議し決定しました。この区域はカシ類を中心とした常緑樹からなり、医学部建設時に余った土を盛り樹木を移植・植林し境界林にしたもので、来年秋の工事開始まで、緑のアーチの下を散策してみてください。

施設課

089-960-5160

栄養部から新刊の発刊



この度、横山前病院長（現、愛媛大学副学長）、檜垣現病院長の監修のもと、愛媛大学医学部附属病院栄養部からダイエットのためのレシピ本「ホテルシェフと大学病院の管理栄養士が考えたおいしくやせる480kcalのレシピ」を発刊致しました。本書は、おいしさと身体の中から健康的に、そして効果的なダイエットの3つをキーワードに編集した一書です。当院の病院食から特に人気が高く手軽にできるメニューを紹介しています。

栄養部

089-960-5905

ボランティア感謝状贈呈式・懇談会



平成24年6月12日（火）に医学部臨床第3講義室で行いました。本院でのボランティア活動時間が通算200時間、500時間に達した方等を病院長が感謝の意を込めて表彰。今年は活動時間が1000時間・2000時間を超えた2名を含め13人の方を表彰しました。その後の懇談会は檜垣病院長及び田渕看護部長を交えて行いました。

医療サービス課医療福祉推進チーム

089-960-5099

「あいちゃん・だいちゃん」登場



附属病院に、可愛いキャラ「あいちゃん・だいちゃん」が登場しました。あいちゃん・だいちゃんは当院看護職員から応募したイラストをもとに誕生したキャラクターです。平成24年4月2日の辞令交付式では早速新採用者の前に立ち、披露されました。今後の活躍が期待されます。

編集後記

今年の梅雨は雨量が多く、次第に蒸し暑くなってきました。この時期、当院の周囲は緑濃き良き環境ですが、今回の表紙は外来待合の中庭の全景にいたしました。この庭は外来の各場所から見渡せる憩いの場所と感じられる方々も少なくなかったかと思います。創設以来の中庭をなくすことに非常に残念な思いもありますが、外来での利便性を考え、この度診療施設の拡張のために改修工事を行いつつあります。1年後に広くゆったりとした外来棟に生まれ変わると予定ですが、工事中の待合の狭さ、騒音を何卒ご容赦ください。今回、地域医療支援センターや睡眠医療センターの話題も提供させていただきます。なお、今年度から檜垣實男病院長と交代し、私が広報委員長になりました。引き続きINVITATIONを何卒宜しくお願い申し上げます。

総合臨床研修センター長 高田清式

◎表紙

— 病棟中庭 —

愛媛大学医学部附属病院



〒791-0295 愛媛県東温市志津川 ☎089-964-5111(代)

ホームページ <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/>